

令和元年11月1日
指定試験機関
(公社)日本技術士会

令和元年度技術士第一次試験実施状況について（概要）

1. 試験実施及び受験状況

台風19号の接近、上陸の影響による交通機関の計画運休、受験生の安全確保等の観点から東京都及び神奈川県受験地の試験を中止するとともに、宮城県、新潟県及び石川県については一時間繰下げで試験を実施した。受験状況については、申込者数（除く中止受験地）約1万2千人、受験者数9千5百人、受験率7割5分強であった。ただし、中止受験地を含めた受験率については、4割強となっている。

〈参考〉

- *受験申込者数：約2万2千人、中止した受験地：東京都及び神奈川県の合計約1万人
- *各受験地の当日受験率：北海道（約8割）、宮城県（約5割）新潟県（約6割）、石川県（約8割）愛知県（約8割）、大阪府（約8割）、広島県（約8割）、香川県（約8割）、福岡県（約8割）沖縄県（約8割）
- *HPでの情報提供の経緯
 - ・第1報 10/8 13時 台風の影響による今後の状況について、随時情報掲載する周知
 - ・第2報 10/11 10時 進路予想、計画運休の状況により判断する旨周知
 - ・第3報 10/11 17時 東京、神奈川、宮城の中止の検討及び他の受験地の実施（1時間繰下げを含む。）
 - ・第4報 10/11 20時 東京、神奈川 中止、他の受験地1時間繰下げの可能性あり
 - ・第5報 10/12 16時 宮城 1時間繰下げ
 - ・第6報 10/13 8時40分 新潟、石川 1時間繰下げ
 - ・試験後 10/15 17時 今後の対応については文部科学省試験部会審議を踏まえ追って周知

2. 中止決定に対する要望、対応

東京都及び神奈川県受験地の多くの受験生より、受験申込み案内等の再試験を実施しない旨の記載に関して、一部受験地の中止に対する他の受験生との公平性等の観点から、受験料の返納ではなく何らかの試験実施への配慮に関わる強い要望（全受験地を中止してその上での再試験、再試験の年度内実施）がなされた。

繰下げ実施についても全国一斉繰下げとし、出来るだけ多くの受験者を受験させるべきとの意見もあった。

3. 再試験の実施

上記の状況や要望を踏まえ、再試験の実施については、文部科学省との協議を踏まえ、作問に係る体制が整いつつある状況や、試験会場の確保が見込まれるなど条件整備が進んだところである。

4. 試験実施の考え方及び今後の対応について

第一次試験の試験問題にかかる方針決定に基づき、試験委員会議の開催及び作成に要する期間の約半年も考慮し、通年の作業工程により、第二次試験を含めそれぞれ年1回の試験を実施してきたところである。

以上を踏まえ、試験を中止する場合は、どのような事態の場合において中止するのか、あらかじめ、基準を設けるなど受験生に示す必要があるとともに、来年度以降の試験において再試験ルールを明確化する必要があることから、今年度の再試験の実施状況を分析、検証を行う。